

阪大微研会、観音寺研究所瀬戸センター 緑化優良工場として日本緑化センター会長賞受賞

一般財団法人阪大微生物病研究会（以下、「阪大微研会」）の観音寺研究所瀬戸センター（所在地・香川県観音寺市）は工場緑化の推進に積極的に努め、工場内外の環境整備に顕著な功績があった工場として、11月2日（月）に「日本緑化センター会長賞」を受賞しました。

観音寺研究所瀬戸センターは、2011年の竣工以来、地域社会と共に発展していく工場づくりを目指して、周辺環境を考慮した工場緑化に取り組んでまいりました。約16万5千平方メートルの工場敷地のうち、25%を緑地に充て、そのうち5%を公園施設として、地域住民の方に開放しています。

今後も緑化も含めた同工場内外の環境整備に一層の努力を重ね、社会的責任を果たして参ります。

受賞の詳細内容は、日本緑化センターのHP（<http://www.jpgreen.or.jp/koujyo/index.html>）からご確認ください。



以上

一般財団法人阪大微生物病研究会について

一般財団法人阪大微生物病研究会（阪大微研会）の歴史は長く、1934年に創設されました。以来80年余にわたり大阪大学微生物病研究所における先駆的基礎研究をもとに、新規ワクチンの開発を行い、多くの重要なワクチンの製造・供給に従事することで、国内のみならず世界中の人々の感染症の予防に貢献してきました。当会の主なワクチンには水痘ワクチン、インフルエンザワクチン等が含まれます。これからも公益性を重視しつつ、事業の発展を目指します。全職員が使命感を持って高品質ワクチンの安定供給を継続するとともに、革新的次世代ワクチンの開発・提供を通じて、世界中の人々の健康ならびに生活の質（QOL）の向上に資する事業を推進してまいります。

本件に関するお問い合わせ先

一般財団法人阪大微生物病研究会 広報担当 磯野、子守

TEL:0875-25-4175、e-mail: isonoh@mail.biken.or.jp